平成 29 年 10 月 24 日公表
（更新　平成 31 年 3 月 31 日現在）

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表

苫小牧市

目　　次

1　要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表
(1)　要緊急安全確認大規模建築物に係る耐震診断結果総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
(2)　耐震診断結果公表
ア　不特定多数の者が利用する大規模建築物
①　体育館（一般公共の用に供されるもの）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
②　集会場、公会堂 ・・・2
イ　避難確保上特に配慮を要する者が利用する大規模建築物
③　小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・3
④　老人福祉センター、児童厚生施設、身体障害者福祉センターその他これらに類するもの ・・・・・・・・・10
(3)　附表　耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価・・・・・・・・・・・・・・・11
(4)　参考　耐震診断結果の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

要緊急安全確認大規模建築物に係る耐震診断結果総括表（苫小牧市が所管する区域内の建築物）

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

用途	公表建築物数	構造耐力上主要な部分の地震（震度6強から7程度）に対する安全性（注）			耐震改修工事中
		Ⅰ 倒壊・崩壊の危険性が高い	Ⅱ 倒壊・崩壊の危険性がある	Ⅲ 倒壊・崩壊の危険性が低い	
ア 不特定多数の者が利用する大規模建築物					
① 体育館（一般公共の用に供されるもの）	1		1		
② ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設					
③ 病院、診療所					
④ 劇場、観覧場、映画館、演芸場					
⑤ 集会場、公会堂	1	1			
⑥ 展示場					
⑦ 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗					
⑧ ホテル、旅館					
⑨ 博物館、美術館、図書館					
⑩ 遊技場					
⑪ 公衆浴場					
⑫ 飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの					
⑬ 理髪店、質屋、貸衣装屋、銀行その他これらに類するサービス業を営む店舗					
⑭ 車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場を構成する建築物で旅客の乗降又は待合の用に供するもの					
⑮ 自動車車庫その他の自動車又は自転車の停留又は駐車のための施設					
⑯ 保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物					
イ 避難確保上、特に配慮を要する者が利用する大規模建築物					
⑰ 幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園					
⑱ 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校	17	3	2	12	
⑲ 老人福祉センター、児童厚生施設、身体障害者福祉センターその他これらに類するもの	1			1	
⑳ 老人ホーム、老人短期入所施設、福祉ホームその他これらに類するもの					
ウ 一定量以上の危険物を取り扱う大規模な貯蔵場等					
㉑ 危険物の貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物					
合計	20	4	3	13	

（注） 1の建築物に構造上独立した部分が複数ある場合は、安全性の評価が最も低い部分により分類している。建築物毎の詳細は別に示す。

耐震診断結果公表

■体育館（一般公共の用に供されるもの）

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	総合体育館		苫小牧市末広町3丁目2番16号	体育館					
		体育館部 RC造部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」（2001年版）	Is/Is0 = 0.56 （ 1.0 ） Ctu・Sd = 0.43 （ 0.34 ）	耐震改修	未定	Z= 0.9 ， G= 1.0 ， U= 1.25
		体育館部 S造部分			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.82 （ 0.54 ） q = 1.54 （ 1.25 ）	耐震改修	未定	Z= 0.9 ， G= 1.0 ， U= 1.25
		低層部 RC造部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」（2001年版）	Is/Is0 = 2.01 （ 1.0 ） Ctu・Sd = 0.49 （ 0.34 ）	耐震改修	未定	Z= 0.9 ， G= 1.0 ， U= 1.25

■集会場、公会堂

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	市民会館		苫小牧市旭町3丁目2番2号	集会場					
		大ホール棟 RC造 一部SRC・S造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」（2001年版）	Is/Is0 = 0.26 （ 1.0 ） Ctu・Sd = 0.18 （ 0.34 ）	建替え	平成36年度までに用途廃止予定	Z= 0.9 ， G= 1.0 ， U= 1.25
		小ホール棟 RC造部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」（2001年版）	Is/Is0 = 0.52 （ 1.0 ） Ctu・Sd = 0.38 （ 0.34 ）	建替え	平成36年度までに用途廃止予定	Z= 0.9 ， G= 1.0 ， U= 1.25

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	苫小牧東小学校 ※2		苫小牧市旭町3丁目3番5号	小学校					
		校舎棟 ③－1･2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.64 (1.0) Ctu･Sd = 0.42 (0.27)	建替え	用途廃止 平成32年度 解体予定 平成33年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 A'棟 ④－1･3･6			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.78 (1.0) Ctu･Sd = 0.29 (0.27)	建替え	用途廃止 平成32年度 解体予定 平成33年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 A棟 ②－1･2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.44 (1.0) Ctu･Sd = 0.37 (0.27)	建替え	用途廃止 平成32年度 解体予定 平成33年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 B'棟 ④－4			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.36 (1.0) Ctu･Sd = 0.73 (0.27)	建替え	用途廃止 平成32年度 解体予定 平成33年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 B棟 ②－3･6			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.67 (1.0) Ctu･Sd = 0.53 (0.27)	建替え	用途廃止 平成32年度 解体予定 平成33年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
2	緑小学校 ※2		苫小牧市三光町2丁目6番5号	小学校					
		校舎 A'棟 ①－1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.53 (1.0) Ctu･Sd = 0.57 (0.27)	建替え	解体予定 平成31年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 A棟 ②－1～4.⑮			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.98 (1.0) Ctu･Sd = 0.57 (0.27)	建替え	解体予定 平成31年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 B'棟 ⑪			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 2.01 (1.0) Ctu･Sd = 0.59 (0.27)	建替え	解体予定 平成31年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 B棟 ②－8			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.98 (1.0)	建替え	解体予定 平成31年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 C棟 ②－5			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.94 (1.0) Ctu･Sd = 0.35 (0.27)	建替え	解体予定 平成31年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00

3	北光小学校 ※2		苫小牧市北光町3丁目8番2号	小学校					
		校舎 A''棟 ④－1･2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.53 (1.0) Ctu･Sd = 0.83 (0.27)	―	―	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 A棟 ① ②－1･2 ③－1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.55 (1.0)	建替え	解体予定 平成31年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
4	勇払小学校 ※2		苫小牧市字勇払149	小学校					
		校舎'棟 ⑪－1･2 ⑯－1･2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.29 (1.0) Ctu･Sd = 0.70 (0.27)	―	―	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成26年10月)
5	大成小学校 ※2		苫小牧市大成町2丁目3番2号	小学校					
		校舎 A棟 ①－1･4			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.26 (1.0) Ctu･Sd = 0.41 (0.27)	―	―	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成24年10月)
		校舎 B棟 ①－2･3･5			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.19 (1.0) Ctu･Sd = 0.50 (0.27)	―	―	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		屋内体育館 A棟 ④－1			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.71 (0.54) q = 1.52 (0.9)	―	―	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成26年3月)
		屋内体育館 B棟 ④－2			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.87 (0.54) q = 2.05 (0.9)	―	―	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成26年3月)
		屋内体育館 C棟 ④－3			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.75 (0.54) q = 1.38 (0.9)	―	―	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成26年3月)

6	清水小学校 ※2		苫小牧市清水町2丁目10番16号	小学校				
		校舎棟 ①－1A			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.16 (1.0) Ctu・Sd = 0.73 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成24年2月)
		校舎棟 ①－1B			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.22 (1.0) Ctu・Sd = 0.75 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成24年2月)
		校舎棟 ①－2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.20 (1.0) Ctu・Sd = 0.75 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成24年2月)
		屋内体育館棟 ②－1･3			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.23 (0.54) q = 0.73 (0.9)	建替え	平成32年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
7	美園小学校 ※2		苫小牧市美園町4丁目26番2号	小学校					
		校舎棟 ①－1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.38 (1.0) Ctu・Sd = 0.82 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成19年12月)
		校舎棟 ①－2･6			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.38 (1.0) Ctu・Sd = 0.82 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成19年12月)
		校舎棟 ①－3･4			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.40 (1.0) Ctu・Sd = 0.36 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成19年12月)
		校舎棟 ①－5			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.33 (1.0) Ctu・Sd = 0.67 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成19年)
		屋内体育館棟 ④－1･2･3			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.73 (0.54) q = 1.67 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成25年3月)

8	日新小学校 ※2		苫小牧市日新町3丁目1番7号	小学校				
		校舎 A棟 ①－1･2･4･8			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is_0 = 1.16 (1.0) Ctu･Sd = 0.54 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成26年1月)
		校舎 B棟 ①－3･5･6			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is_0 = 1.17 (1.0) Ctu･Sd = 0.69 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
		校舎 C棟 ①－7			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is_0 = 1.47 (1.0) Ctu･Sd = 0.44 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		屋内体育館 A棟 ④－1			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.92 (0.54) q = 2.02 (0.9)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成8年11月)
		屋内体育館 B棟 ④－2			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.92 (0.54) q = 2.02 (0.9)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成8年11月)
9	糸井小学校 ※2		苫小牧市日吉町4丁目12番6号	小学校				
		校舎 ①－1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is_0 = 1.33 (1.0) Ctu･Sd = 0.43 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成15年12月)
		校舎 ①－2･3			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is_0 = 1.33 (1.0) Ctu･Sd = 0.30 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成15年12月)
		校舎 ①－4A			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is_0 = 4.11 (1.0) Ctu･Sd = 0.70 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		屋内体育館 ②－1･2			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 1.01 (0.54) q = 1.83 (0.9)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年10月)

10	北星小学校 ※2	苫小牧市桜木町3丁目8番6号	小学校					
	校舎 A－a棟 ②			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	Is = 0.82 (0.54) q = 1.00 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成28年3月）
	校舎 A-b棟 ③			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	Is = 0.73 (0.54) q = 1.72 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成28年3月）
	校舎 B棟 ⑥			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	Is = 0.85 (0.54) q = 1.03 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成28年3月）
	校舎 C棟 ④-1～3			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	Is = 0.83 (0.54) q = 1.06 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成28年3月）
	屋内体育館 ①-1･2			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.87 (0.54) q = 1.58 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成25年2月）
11	澄川小学校 ※2	苫小牧市澄川町2丁目4番6号	小学校					
	校舎棟 ①－1･2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	Is = 0.82 (0.54) q = 1.00 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成27年3月）
	屋内体育館棟 ②－1･2			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.90 (0.54) q = 1.64 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成27年2月）
12	豊川小学校 ※2	苫小牧市豊川町4丁目7番14号	小学校					
	校舎 A棟 ⑤－1･2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	Is = 0.72 (0.54) q = 1.04 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成27年10月）
	校舎 B棟 ①－1･4			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	Is = 0.70 (0.54) q = 1.07 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内体育館棟 ④－1･2･3･4			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.86 (0.54) q = 2.66 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成28年3月）

13	啓北中学校 ※2		苫小牧市啓北町2丁目12番11号	中学校					
		校舎 B棟 ②－1･2･3, 25			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.37 (1.0) Ctu･Sd = 0.31 (0.27)	建替え	用途廃止 平成31年度 解体予定 平成32年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 C棟 ②－4･7			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.17 (1.0) Ctu･Sd = 0.67 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年9月)
14	和光中学校 ※2		苫小牧市双葉町1丁目11番3号	中学校					
		校舎 ⑯			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.27 (1.0) Ctu･Sd = 0.29 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年9月)
		校舎 ⑱			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.23 (1.0) Ctu･Sd = 0.36 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 ホール ⑬			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.64 (1.0) Ctu･Sd = 0.62 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年9月)
		校舎 一般教室 ⑮－1･2･3			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.18 (1.0) Ctu･Sd = 0.57 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年9月)
		校舎 特別教室1 ⑭－1･2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.20 (1.0) Ctu･Sd = 0.72 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年9月)
		校舎 特別教室2 ⑰			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.37 (1.0) Ctu･Sd = 0.83 (0.27)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修済み(平成28年9月)
		屋内体育館 ①-1～4			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.71 (0.54) q = 1.28 (0.9)	－	－	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修済み(平成28年3月)

15	凌雲中学校 ※2		苫小牧市青雲町2丁目15番3号	中学校				
		校舎棟 ①－2･3･4･5･6			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.24 (1.0) Ctu･Sd = 0.84 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成27年12月）
		校舎棟 ①－7			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.25 (1.0) Ctu･Sd = 0.44 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成27年12月）
		校舎棟 ①－8			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.17 (1.0) Ctu･Sd = 0.39 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
16	開成中学校 ※2		苫小牧市清水町2丁目9番2号	中学校				
		校舎 A棟 ①－1～3			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.16 (1.0) Ctu･Sd = 0.67 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成26年1月）
		校舎 B棟 ②－8			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.92 (1.0) Ctu･Sd = 1.11 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 C棟 ③－1･2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.16 (1.0) Ctu･Sd = 0.70 (0.27)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成26年1月）
		屋内体育館 ⑥－1･2			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.85 (0.54) q = 2.58 (0.90)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成24年9月）
17	明倫中学校 ※2		苫小牧市日新町3丁目5番13号	中学校				
		校舎 A棟 ①－1･8			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」 （1996年版、2011年版）	Is = 0.74 (0.54) q = 1.14 (0.9)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		校舎 B棟 ①－2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」 （1996年版、2011年版）	Is = 0.84 (0.54) q = 1.13 (0.9)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
		屋内体育館棟 ②－1			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 1.00 (0.54) q = 1.82 (0.90)	－	－ Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み（平成26年3月）

■老人福祉センター、児童厚生施設、身体障害者福祉センターその他これらに類するもの

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	教育･福祉センター ※2	苫小牧市本幸町1丁目2番21号	児童福祉施設	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」（2001年版）	Is/Is0 = 1.01 （ 1.0 ） Ctu･Sd = 0.58 （ 0.27 ）	―	―	Z= 0.9 ， G= 1.0 ， U= 1.00 耐震改修済み（平成19年7月）

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価（Ⅲ 地震の振動及び衝撃対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い）を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

附表　耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

※下記Ⅰ～Ⅲの安全性の評価は、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

Ⅰ　大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い
Ⅱ　大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある
Ⅲ　大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震（震度6強から7程度）に対する安全性		
		Ⅰ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い	Ⅱ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある	Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」（2001年版）		$Is/Iso < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leqq Is/Iso$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leqq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）		$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leqq Is$ かつ $1.0 \leqq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2009年版）	鉄骨が充腹材の場合	$Is/Iso < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leqq Is/Iso$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leqq C_{TU} \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材の場合	$Is/Iso < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leqq Is/Iso$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leqq C_{TU} \cdot S_D$
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」		$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leqq Is$ かつ$1.0 \leqq q$

参考　耐震診断結果の見方

建築物の耐震診断とは、震度６強から震度７に達する程度の大規模の地震に対する安全性を評価することをいい、附表の「構造耐力上主要な部分の地震（震度６強から７程度）に対する安全性」欄における評価Ⅲの耐震性能は、現行の建築基準法令における耐震基準（昭和５６年６月施行の「新耐震基準※」）と同程度とされています。また、いずれの評価（Ⅰ～Ⅲ）に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度５強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはありません。

※新耐震基準：建築物が数十年に一度程度発生する中規模地震（震度５強程度）に対してほとんど損傷しないことの検証に加えて、数百年に一度程度発生する大規模地震（震度６強から７に達する程度）に対して倒壊・崩壊しないことを検証する耐震基準

用語の解説

Is、Gls　：建築物の耐震性を表す指標値（構造耐震指標値）

Is／Iso：建築物の構造耐震指標値（Is 値）を判定指標値（Iso）と比較し、耐震性を判定した値

Iw　：木造に適用される構造耐震指標値

CTU･SD、CT･SD　：主に鉄筋コンクリート造に適用される保有水平耐力に係る指標値

q　：主に鉄骨造に適用される保有水平耐力に係る指標値

Z　：地域の地震活動度などによる補正係数

G　：表層地盤の増幅特性などによる補正係数

U　：建物の用途などによる補正係数

Rt　：建築物の固有周期および地盤の種別に応じた当該建築物の振動特性により、地震力の値を変化させる係数

S 造　：鉄骨造

RC 造　：鉄筋コンクリート造

SRC 造　：鉄骨鉄筋コンクリート造

耐震診断結果公表

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定 内容	耐震改修等の予定 実施時期	備考
1	□□□	□□市□□	□□	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso　=　1.07　（　1.00　） CTU･SD　=　0.75　（　0.27　）	—	—	Z= 0.9 ，G=1.0 ，U=1.00 法第5条第3項第1号※2
2	△△△	△△町△△	△△	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)（鉄骨が非充腹材の場合）	Is/Iso　=　0.82　（　1.00　） CTU･SD　=　0.44　（　0.26　）	建替え	平成31年4月～平成33年3月	Z= 0.9 ，G=1.0 ，U=1.00 ，Rt＝1.00

附表において、「耐震診断の方法の名称」が同じものを見つけます。

評価の結果と附表による安全性の基準値を比較することで評価（Ⅰ～Ⅲ）が判断できます。なお、評価結果の全てが目標値以上の場合、評価Ⅲとなります。

附表　耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

※下記Ⅰ～Ⅲの安全性の評価は、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

Ⅰ　大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い
Ⅱ　大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある
Ⅲ　大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震（震度6強から7程度）に対する安全性 Ⅰ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い	Ⅱ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある	Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」及び「第3 次診断法」（2001年版）		Is／Iso ＜ 0.5 又は CTU･SD ＜ 0.15･Z･G･U	左右以外の場合	1.0 ≦ Is／Iso かつ 0.3･Z･G･U ≦ CTU･SD
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2009年版）	鉄骨が非充腹材の場合	Is／Iso ＜ 0.5 又は CTU･SD ＜ 0.14･Z･Rt･G･U	左右以外の場合	1.0 ≦ Is／Iso かつ 0.28･Z･Rt･G･U ≦ CTU･SD